

山北町立やまきたこども園

研究テーマ：自然と出会い体験する中で豊かな心を育む

1 実践の目的

子どもたちが自然とふれあうことで得られる経験は、豊かな感性をつちかうことにつながっていく。自然の中で得る学びを大切にして保育を紡いでいくことは重要であると考え、山北の自然を生かして保育を進めていくことを焦点にした。

子どもが自然に親しみ興味を膨らませながら、自然の中で遊ぶ楽しさを感じ、また地域の交流をとおして豊かな心を育みたいと考え、研究主題を「自然と出会い体験する中で豊かな心を育む」とした。

2 実践の内容

(1) 重点テーマについて

重点テーマを「実体験をとおして、自然を感じる子どもをめざして」と設定した。その中で以下の3点をキーワードとして研究を進めた。

① 地域・家庭

乳児クラスでは、「だいこくの郷」に足を運ぶ機会を増やし、体験をとおして四季を感じる事ができた。地域の方から声をかけてもらい、びわ、夏みかん、柿などの収穫をさせていただき、園の中だけでは体験できないことを味わうことができた。

また、昨年度に引き続き、学期ごとに懇談会を行い、保護者との対話を大切にした。今年度はおやつを試食を行い、子どもたちが保護者と一緒におやつを食べる機会を



商店街でハロウィン散歩

設けた。保護者とゆっくり話ができ、園や家庭での様子などを共有することができた。

幼児クラスでは、行事や交流のあり方を考え、今後を見据え継続するための方法を職員間で話し合い取り組んだ。商店街を巻き込んで行ったハロウィン散歩では、事前に園の思いを伝えたことで、お互いに無理なく交流を深めることができた。

今年度も園周辺との関わりを継続したことで、地域に対する思いが子どもたちの中に根付いてきた。そのことにより、幼児が自ら家庭で保護者に話をする機会となり、園と家庭、地域との繋がりを深めることができた。

② おもしろそう・やってみよう

園庭にいたダンゴムシを飼育し始めた際、脱皮する様子に遭遇したことで興味が広がり、様々な虫を飼育してみたいという気持ちが芽生えた。その中で、図鑑などを用いて虫の生態を調べたり自分たちで餌を取りに行ったりするなど、虫の飼育をとおして、成長する嬉しさや、やってみようとする思いにつながった。

保育者が意図的に環境をつくることも大切だが、時にはありのままの環境で、子ども自身が感じることでできる瞬間も大切にしていきたい。

窓ガラスにカラーセロハンを貼り、床に色や形が映るように環境を作ると、気づい



ダンゴムシのえさを調べよう

た子どもたちは、触ってみたり言葉や指差しをしたりして、自分なりに表現をして楽しむ姿が見られた。

また、保育者が野菜に水をあげている姿を見て、子どもから「やりたい」の言葉が聞こえた。その言葉を聞き、子どもたちが自分でできるようにジョウロを用意し、遊びにつなげていった。



自分でも水やりできるよ

子どもたちの言葉に耳を傾け、意欲を深められるような援助を今後も大切にしていきたい。

③ ICT の活用

今年度も、保育の活動の中で子どもたちが ICT にふれられる機会を多くもつことができた。春から飼育していた蚕の様子を iPad で撮影し、映画館ごっこを開催したり、他園との連絡手段としてビデオレターを活用したりするなど、様々な使い方の幅を広げることができた。また、季節の歌や行事の説明をする際の視覚的支援の道具の一つにもなった。

(2)0 歳から 15 歳までの一貫教育・保育
小学校や各園との交流では、事前に互いの思いを共有することで、連携をとり子ども同士の自然なかかわりを深めることができた。今年度は地域づくり委員と 5 年生とで育てている田んぼに、こども園も参加してもらったことで、稲の生長に興味をもち、収穫祭への思いを高めることができた。

こども園の良さを生かし、2 歳児が進級後に安心してやまっこ園舎で過ごせるように、3 歳児との交流を定期的に実施した。園舎での過ごし方を体験する中で、やまっこ

園舎を身近に感じることができるようになった。

3 実践の成果と課題

・ICT の活用では、子どもたちの活動の中で活用し、遊びを広げることができた。

・小学校との交流を継続しながら、今年度は各年齢の交流を実施し、横とのつながりを深めることができた。



小学校での収穫祭

・地域とのかかわりで、四季を感じながら、様々な果物の収穫体験をすることができ、地域と園との関係を深めることができた。

・子どもたちが「おもしろそうやってみたい」と感じている場面をひろい、遊びにつなげていくことで、子どもたちの自主性につながった。

4 今後の展開

・日々の遊びや行事の取り組みを、どのように継続していくかを職員間で話し合いたい。

・収穫体験をするだけでなく、その後の食育へと繋げていきたい。

・園、小学校の縦のつながりだけでなく、他園との横のつながりや園舎のかかわりが深まるように職員間で連携していきたい。

・子どもが自然とかかわる中で、何を感じ何に興味があるかを見つけ出し、保育に取り入れる工夫をしていきたい。